

センター通信は、医大学内の全教員と希望者の皆さんに配信しております。

センター通信 Vol. 46

▼ 目次 ▲

1. 10月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内
2. 10月分学内締切分 国費（科研費以外）助成金 公募案内

1. 10月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内

■□■ （財）中谷電子計測技術振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#nakatani_syo_2010_10

第3回（平成22年度）中谷賞

【対象研究分野】

生体に関する電子計測技術

【表彰対象】

対象研究分野の発展に寄与する新規性のある開発的研究、あるいは対象研究分野への波及効果が広く期待できる独創性のある基礎的研究、あるいは有益な実用化が期待できる応用的研究などで優れた成果を挙げている研究者

【表彰内容】

件数1件、賞金300万円

【応募資格】

・大学およびこれに準ずる研究機関に属する者

・募集締切日に、満年齢50歳以下であること

【学内〆切】

平成22年10月15日

【推薦者名】

学長の推薦が必要です。推薦書は推薦理由等を記載して、推薦者欄の推薦者氏名・捺印等は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

財団所定の推薦書：2部

【応募について】

応募には、書類の提出と併せて電子データの送付が必要です。財団へのメール送信はセンターから行いますので、推薦書の電子データを、AdobeのPDFファイルまたはWindows版のMicrosoft Wordファイルで、センター藤原（fuji421@sapmed.ac.jp）宛に送信してください。

■□■ （財）東京生化学研究会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#tokyo-seikagaku_asia_2010_10

平成23年度 国際共同研究助成 アジア地域招聘研究者募集

【趣旨】

我が国とアジア地域の医学・薬学の進展に資することを目的として、アジア地域の研究者を我が国内受入研究機関に招聘し、受入研究者との共同研究を助成する

【対象分野】

新医薬品の創製に関する独創的研究

【期間】

原則として1年以上、最長2年。

【来日時期】

原則として、平成23年4月以降9月までの間に来日すること

【採用予定数】

約4名

【支給経費】

- ①渡航費：往復国際航空券
- ②滞在費（月額 基本学 27 万円）
- ③その他：渡日一時金、家族手当、宿舍手当、保険料等
- ④受入研究者に対し共同研究助成金として年額 150 万円

【申請者（受入研究者）の要件】

我が国の研究機関に所属する常勤の我が国研究者（講師相当以上）

【招聘研究者の要件】

東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア及び西アジア（中東）の諸国・地域に在住する 40 歳未満の博士号取得者で、共同研究終了後に母国の研究機関に帰ることが保証されている者

※詳細は応募要項をご覧ください。

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。申請書の承諾書欄は空欄のままご提出ください。

【申請手続】

応募を希望される方は、申請書を提出する前に必ず財団事務局へ連絡し、招聘研究希望者・研究内容・受入条件・推薦者等に関して予め財団にご相談ください。

■□■ （財）明治安田厚生事業団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#meiji_yasuda_2010_10

第 27 回（平成 22 年度）健康医科学研究助成

【公募研究テーマ】

積極的な健康の維持増進に活用できる研究課題

【助成金額】

総額 1,500 万円

1 件あたり 100 万円程度

【応募資格】

健康の維持増進に関する研究を行っている 40 歳未満（申請時）の方

※修士課程以下の学生・第 26 回（前年度）の対象者は除く

【学内×切】

平成 22 年 10 月 8 日

【推薦者名】

学部長または担当教授の推薦が必要です。

学部長の推薦を希望される場合は、推薦者欄は空欄のままご提出ください。担当教授の推薦の場合は、推薦者欄をすべて記入し、押印をいただいてからご提出をお願いします。

【備考】

申請書は B4 サイズで、両面印刷 1 枚に仕上げてください。

■□■ （財）博報児童教育振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#hakuho_jido_2010_10

第 6 回 児童教育実践についての研究助成事業

【目的】

新しい視点を持つ教育実践者および研究者による研究を支援し、それらの研究成果を、小・中学生を中心とする児童教育の実践に反映することにより、教育基盤充実をはかる

【対象部門】

- ①児童教育の基盤となることばの教育に関する研究の部
 - ・国語・日本語教育の諸分野における研究
 - ・あらゆる学びの場におけることば教育に関する研究
- ②児童教育実践の質を向上させる研究の部
 - ・多様な場における教育実践の質を向上させる研究

【助成期間】

2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日（助成金使用可能期間）

【助成金額】

1 件につき 300 万円を上限とする

【応募資格】

下記のいずれかに該当する方

①日本の学校・教育委員会等に勤務する教諭や指導主事等、教員資格を持つ教育実践者

・学位不問

②日本の大学や研究機関に所属する研究者

・修士以上の学位保有者

・若手支援を目的とするため、教授もしくはそれに相当する職は除く

・修士号未取得の大学院生はグループ研究共同研究者としての参加のみ

可

<①、②共通の条件>

・年齢、国籍不問、ただし応募から研究成果報告書提出まで日本在住であること。

・同じ研究テーマで他の機関からの助成を受けていないこと。

・個人研究、グループ研究ともに可。グループ研究の場合は全員が条件に適すること。

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦書は推薦理由の記載にとどめ、推薦者氏名～住所欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

【提出書類】

・推薦書

・研究計画書（押印・署名必要）

・作成した「推薦書」「研究計画書」のデータ（ワード、エクセル）を収納した CD-R 等のメディア（パソコンで作成の場合）

※「推薦書」と「研究計画書」は、可能であれば、それぞれ両面印刷してください。

■□■ （財）日本ユニフォームセンター ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#uniform_2010_10

平成 22 年度ユニフォーム基礎研究助成

【目的】

働きやすく・快適なユニフォーム作りの推進と研究活動の活性化を図り国民の厚生福祉に寄与する

【募集テーマ】

ユニフォームの改善・改良並びに未来のユニフォーム開発に関連する調査・研究

【助成期間】

原則として 1 年間（平成 23 年 4 月 1 日から翌年 3 月末日）

【助成金額】

30～50 万円/件

【助成件数】

1～2 件

【応募資格】

ユニフォームに関する諸研究全般に取り組んでいる個人及びグループ

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学部長の承認が必要です。申込書の承認者名・捺印欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

・申込書

・申請書

・申請に関連する 1 枚程度の論文リスト（申請書の末尾に添付）

※申請書はワープロで記載してください。

■□■ （財）磁気健康科学研究振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#maghealth_2010_10

第 17 回 研究助成

【目的】

磁気を用いて健康の維持および増進を図る科学（以下「磁気健康科学」という）に関する基礎および応用研究に対する助成を行うことにより磁気健康科学の発展を推進し、もって豊かな国民生活実現と我が国経済社会の発展に寄与する

【対象研究課題】

- ①磁気健康科学に関する基礎研究（テーマ自由）
- ②磁気健康科学に関する応用研究（テーマ自由）
- ③磁気健康科学に関するテーマ指定研究

〈指定テーマ〉

- ・ ヒト及び動物レベルでの磁場作用のメカニズムの解明
- ・ 免疫系と磁場との関連
- ・ 循環系と磁場との関連
- ・ 神経系と磁場との関連
- ・ 血流と磁場との関連

【助成期間】

平成 23 年 4 月 1 日から 1 年

【助成金総額】

約 700 万円

※研究課題毎に助成金総額の範囲内で助成する

【応募資格】

大学及びこれに準ずる研究機関に所属する者

※ただし、前年度助成金受領者（前年度共同研究者含む）は除く

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。

承諾書の所属機関・代表者役職・氏名欄は空欄のままご提出ください。

【申請書について】

- ・ パソコン、ワープロで作成してください（手書きは不可）
- ・ 和文と英文の両方で作成してください。

■□■ 公益財団法人痛風財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#tufu_2010_10

平成 22 年度 研究助成

【応募部門】

- ①鳥居痛風学術賞
- ②田辺三菱賞
- ③研究助成金
- ④優秀論文賞

【研究テーマ】

- ①痛風・核酸代謝に関する研究のうち臨床的色彩の濃いもの
- ②痛風・核酸代謝に関する研究のうち基礎的色彩の濃いもの
- ③痛風・核酸代謝に関する一般的研究
- ④国内学術誌に発表された痛風・核酸代謝に関する優秀論文

【助成金額】

- ①100 万円（対象 1 件）
- ②100 万円（対象 1 件）
- ③総額 600 万円（対象若干件）
- ④総額 100 万円（対象若干件）

【応募資格】

痛風及び核酸代謝に関する基礎・臨床分野における研究に対し、研究成果が痛風の成因と治療・予防に有用な影響を与えるものと期待される団体及び共同研究グループまたは個人。

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

①と②の応募は学部長の推薦が必要です。

推薦状の形式は自由です。任意の様式で作成し、推薦者名・捺印欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

- ・①又は②と③には別テーマで各々申請可能です。
- ・①と②は重複して助成対象となることはありません。

■□■ (財) 日本心臓財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#sinzo_2010_10

平成 22 年度 研究奨励事業

【対象分野】

心臓血管病（心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等）の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究

【対象部門】

I ①第 36 回日本心臓財団研究奨励

②第 1 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

③第 1 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

II ④第 8 回日本心臓財団若年研究者研究奨励（藤基金）

【助成金額】

- ①1 件 200 万円を 10 件
- ②1 件 100 万円を 3 件
- ③1 件 100 万円を 1 件
- ④1 件 50 万円を 4 件

【応募資格】

- ①わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる 40 歳未満の研究者（1970 年 4 月 1 日以降に生まれた者）
- ②①の応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者
- ③①の応募対象者のうち女性研究者
- ④わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる 30 歳未満の将来性のある若手研究者（1980 年 4 月 1 日以降に生まれた者）

【学内×切】

平成 22 年 10 月 1 日

【推薦者名】

担当教授の推薦が必要です。推薦者の記名・捺印のうえ、ご提出ください。

【備考】

応募は 1 人 1 件に限る（I または II）

■□■ (財) 赤枝医学研究財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#akaeda_2010_10

平成 22 年度 研究助成

【助成の対象】

〔研究〕

- ①女性の不定愁訴に結びつくと思われる研究
- ②女性の保健の向上に関する研究
〔国際交流活動〕
- ③女性の不定愁訴及び女性の保健の向上に関する研究を海外で行うものへの助成
- ④海外に在住し、女性の不定愁訴及び女性の保健の向上に関する研究のために来日するもの及びそれに関する研究発表のために来日するものへの助成

【助成期間】

1 年間

【助成金額】

1 件につき 100 万円以内

【助成件数】

5 件まで

【応募資格】

- ・応募者はグループとします。グループとは 1 名が研究代表者となり数名（8 名以下）を研究協力者とする場合です。
- ・研究代表者は 40 歳以下とします。

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学長の推薦が必要です。推薦書は推薦理由を記載し、推薦者所属・職名・氏名欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

- ・申請書類（申請書・応募論文・推薦書・履歴書）
- ・主要論文（過去5年以内に発表のもの、3編以内）

※履歴書は研究協力者全員の分を提出してください。

【応募について】

- ・当該財団以外の財団及び機関からの助成と重ねて助成を受けることは出来ません。
- ・同一人物ならびに同じ所属科に助成金を交付した場合には3年間は交付を行いません。

■□■ 公益信託 美原脳血管障害研究振興基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#mihara_2010_10

平成22年度 研究助成金（美原賞）

【目的】

我が国において脳血管障害の基礎的、臨床的研究が急務であることに鑑み、この分野での研究者による研究に対し、助成を行い、もって医学の進歩と人類の福祉に寄与する

【助成金額】

1件 1,000万円（以内）

【応募資格】

脳血管障害に関する基礎的、臨床的研究に携わる研究者

【学内×切】

平成22年10月15日

【推薦者名】

医学部長の推薦が必要です。推薦書は推薦理由を記入し、氏名・捺印欄は空欄のままご提出ください。

■□■ （財）平和中島財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#heiwa_kokusai_2010_10

2011（平成23）年度 国際学術共同研究助成

【趣旨】

地球環境問題への対処や社会の新しい枠組みの構築等の提言を行う、国際規模の共同研究（国際研究集会、シンポジウム、セミナー、学会、講演会等の会議の開催及び参加を除く）に対して助成を行う

【対象分野】

特に限定しないが、学際的な組織で行われる研究が望ましい

【研究期間】

2011年4月から2012年3月までに行われる共同研究

※共同研究の期間が2011年度以外の年度にまたがるものは対象とならない

【助成金】

1件につき1,000万円以内

【対象経費】

共同研究に直接必要な経費で、次に掲げるもの

設備備品費（助成金額の30%以内）、消耗品費、旅費、謝金（アルバイト、フィールド調査などの労務の対価）、印刷費、借料及び損料、会議費（共同研究者の打合せ会議等の経費に限る）、通信運搬費

※国際研究集会、シンポジウム、セミナー、学会、講演会等の会議の開催及び参加に要する経費は対象とならない

【採用予定件数】

3件

【応募資格】

・我が国の大学・大学共同利用機関の研究者及び海外の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループ

・申し込みは研究代表者（我が国の常勤研究者）が行う

※共同研究者に海外の大学・研究機関等の研究者が含まれていないものは対象とならない

【学内×切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。承諾欄は空欄のままご提出ください。

【必要書類】

①国際学術共同研究助成申込書：2 部

②返信用封筒（定型〔長 3〕に研究代表者の住所・氏名を記入、80 円切手貼付）：1 部

■□■ （財）平和中島財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#heiwa_asia_2010_10

2011（平成 23）年度 アジア地域重点学術研究助成

【趣旨】

我が国及びアジア地域の大学・研究機関等の研究者からなる学術の共同研究（国際研究集会、シンポジウム、セミナー、学会、講演会等の会議の開催及び参加を除く）に対して助成を行う

【対象分野】

アジア地域（中近東、シベリア等を含む）に関するものであれば特に限定しない

【研究期間】

2011 年 4 月から 2012 年 3 月までに行われる共同研究

※共同研究の期間が 2011 年度以外の年度にまたがるものは対象とならない

【助成金】

1 件につき 200 万円以内

【対象経費】

共同研究に直接必要な経費で、次に掲げるもの
設備備品費（助成金額の 30%以内）、消耗品費、旅費、謝金（アルバイト、フィールド調査などの労務の対価）、印刷費、借料及び損料、会議費（共同研究者の打合せ会議等の経費に限る）、通信運搬費

※国際研究集会、シンポジウム、セミナー、学会、講演会等の会議の開催及び参加に要する経費は対象とならない

【採用予定件数】

20 件

【応募資格】

・我が国の大学・大学共同利用機関の研究者及びアジア地域の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループ

・申し込みは研究代表者（我が国の常勤研究者）が行う

※共同研究者にアジア地域の大学・研究機関等の研究者が含まれていないものは対象とならない

【学内〆切】

平成 22 年 10 月 15 日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。承諾欄は空欄のままご提出ください。

【必要書類】

①アジア地域重点学術研究助成申込書：2 部

②返信用封筒（定型〔長 3〕に研究代表者の住所・氏名を記入、80 円切手貼付）：1 部

■□■ （財）平和中島財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#heiwa_syochi_2010_10

2011（平成 23）年度 外国人研究者等招致助成

【趣旨】

海外の大学・研究機関の研究者等で、我が国の大学等において、特定の課題について研究する者（国際研究集会、シンポジウム、セミナー、学会、講演会等の講演者等として招致する者及びこれらへの出席を主目的として招致する者を除く）に対して助成を行う

【対象分野】

特に限定しない

【受入期間】

2011年4月から2012年3月までに行われる研究

※2011年度以外の年度にまたがるものは対象とならない

【助成金】

1名につき200万円以内

【対象経費】

海外の研究者等の招致・受入れに必要な経費及び研究に直接必要な研究費等で、次に掲げるもの

往復渡航費、滞在費、国内旅費、設備備品費（助成金額の30%以内）、消耗品費、その他（謝金、印刷費、会議費、通信費など）

【採用予定人員】

10名

【応募資格】

我が国の大学・大学共同利用機関の常勤研究者

※被推薦者が既に来日している場合は対象とならない

【学内×切】

平成22年10月15日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。承諾欄は空欄のままご提出ください。

【必要書類】

①外国人研究者等招致助成申込書：2部

②返信用封筒（定型〔長3〕に研究代表者の住所・氏名を記入、80円切手貼付）：1部

■□■ （財）細胞科学研究財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_10.html#saibo_kagaku_2010_10

平成23年度 研究助成

【対象テーマ】

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する「細胞科学に関する研究」

①micro-RNAと病態

②がん幹細胞

【研究期間】

1年間

【助成金額】

1件300万円、10件以内

【応募資格】

応募時満45歳未満の独立した研究者

（大型研究費を受けている方はご遠慮ください）

【学内×切】

平成22年10月8日

【推薦状】

学長、学部長または担当教授の推薦が必要です。

学長・学部長の推薦を希望する場合は、推薦理由を記載して推薦者氏名欄は空欄のままご提出ください。

担当教授の推薦の場合は、すべての欄を記入し押印をいただいてからご提出ください。

【承諾書】

学長の承諾が必要です。承諾欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります（1推薦者1名）

【推薦件数について】

推薦者が推薦できるのは1名に限ります。講座内で担当教授の推薦を希望する方が2名以上いた場合は、講座内で選考の上、1件をご提出ください。

2. 国費（科研費以外）助成金 公募案内

● 戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ 第2期募集要項

団体名	(独) 科学技術振興機構 (JST)	
名称	CREST	さきがけ
特色	研究代表者が研究チームを率いて研究を推進	研究総括のもとで、研究者が個人で研究を推進
研究領域	炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基盤技術の創出	炎症の慢性化機構の解明と制御
研究タイプ	1) I型 2) II型 ※II型は、より大きな研究成果が出ることを期待され、同時により大きな責務を負う	1) 通常型 - (3年型) - (5年型) 2) 大挑戦型 ※大挑戦型は、成功した場合には、飛躍的・画期的成果が期待できる研究であって、実現の可能性の観点からは見通しが難しいハイリスク研究を積極的に採択する
研究費	(I型) 1億5千万円～3億円未満 (II型) 3億円～5億円程度	(3年型) 総額3～4千万円程度 (5年型) 総額5～10千万円程度

研究期間	5年以内	3年または5年
採択予定件数	4～10件程度	・3研究領域で30件程度 ・研究期間5年の課題を当該領域の採択件数の2割程度採択 ・大挑戦型では、通常型の採択に加えて1領域当たり若干名を採択する予定
応募資格	・自らが当該研究課題を推進する研究代表者 ・研究チームの責任者として課題全体の責務を負うことができる研究者	個人 ・自らが申請研究課題を推進する研究者
申請方法	<p>■ 提出期限等</p> <p>府省共通研究開発管理システム (e-Rad) を通じて、 CREST 2010年10月26日 (火) (正午) 迄 (必着) さきがけ 2010年10月19日 (火) (正午) 迄 (必着) にご提出ください。</p> <p>※上記締め切りは、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による申請期限です。 ※ e-RadのログインID・パスワードが必要になります。 応募方法については、http://www.e-rad.go.jp/ をご参照ください。尚、アップロードできるファイル(提案書)の最大容量は3MBですので、ご注意ください。</p> <p>詳細は http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html をご参照ください</p>	

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_10.html#hope_meeting_2010_10

第3回 HOPE ミーティング参加者募集（2次募集）

【趣旨】

アジア地域から選抜された優秀な大学院生がノーベル賞受賞者等の世界の知のフロンティアを開拓した人々との対話、同世代の研究者との交流、さらには人文・社会科学分野の講演や芸術プログラムを通じて、より広い教養の涵養と人間性の陶冶を図り、将来のアジア地域の科学研究を担う研究者として飛躍する機会を提供する。

【大会コンセプト】

Art in Science

【対象分野】 物理学（及び関連分野）

【使用言語】 英語

【開催期間】

2011年3月7日（月）～3月11日（金）（予定）

（3月6日（日）：受付及びオリエンテーション）

【会場】 グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）

【本会が負担する経費】

- ・国内所属機関から会場への往復交通費
- ・会議期間中の宿泊費、食費及び研究所見学等の費用

【採択予定数】

30名程度

【申請資格】

- ・博士課程後期（またはそれに相当する課程）に在学する者（国籍は問いません）
- ・物理学（及び関連分野）において、英語での質の高いポスター発表及び討論が可能であること
- ・自分の専門だけでなく幅広い学問分野に対する高い関心を有していること
- ・多様な文化や価値観、エスニシティを尊重できること
- ・会議全日程に参加できること

※過去に参加した者は対象としません。

【学内〆切】

平成22年10月8日

【提出書類】

様式1：第3回 HOPE ミーティング申請書

様式2：推薦書

【作成について】

- ・申請書は、A4版・両面コピーで作成してください。
- ・推薦者は指導教員とすること。

■□■ 独立行政法人科学技術振興機構（JST） ■□■

<http://www.jst.go.jp/a/ca/>

平成22年度 先端的低炭素化技術開発事業

【技術領域】

①特定領域

- 太陽電池および太陽エネルギー利用システム
- 超伝導システム
- 蓄電デバイス
- 耐熱材料・鉄鋼リサイクル高性能材料

②非特定領域

特定領域に含まれない、CO2排出削減に大きく寄与する技術の創出を期待する研究領域

【研究開発期間】

2年～5年

【研究開発費】

原則、年間1千万円～1億円程度

【採択予定件数】

数十件～百件程度

【応募資格】

- ・自らの研究開発構想に基づき、当該研究開発課題を実施する最適な研究開発体制により、自ら当該研究開発課題を推進できる研究者であること

・不適正経理に係る申請資格の制限等を有していない研究者であること

【学内×切】

直接応募 平成 22 年 10 月 18 日（正午）

【応募方法】

研究開発課題の応募は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により行ってください。（<http://www.e-rad.go.jp/>）

※応募には、事前に e-Rad のログイン ID・パスワードを取得しておく必要があります。取得されていない方はセンター藤原（内線 2176）までご連絡ください。（登録手続きに日数を要する場合がありますので、余裕をもってご連絡をお願いいたします。）

※応募後、センター保管用に課題提案書を 1 部センターまでご提出ください。

●戦略的創造研究推進事業 JST-CIRM 共同研究プログラム

団体名	(独) 科学技術振興機構 (JST)
事業概要と目的	<p>iPS 細胞等の研究を加速し、臨床応用等に結びつく研究成果を得るため、日本とカリフォルニア州の研究者が共同して研究を進めることが極めて重要です。そのため、科学技術振興機構 (JST) は平成 21 年度に続き、平成 22 年度も幹細胞・再生医学研究の支援に特化した世界有数のファンディング機関である米国のカリフォルニア再生医療機構 (CIRM) と協力して、日本とカリフォルニア州の研究者による共同研究を支援します。</p> <p>JST は戦略的創造研究推進事業の一環として日本側の研究者の支援を行い、CIRM は Basic Biology Awards Ⅲ^{※3}の一環としてカリフォルニア州側の研究者の支援を行います。両機関は独自に日本およびカリフォルニア州の研究チームを公募・選考し、採択された研究チームに研究資金を提供します。</p>

対象となる研究提案

本共同研究プログラムでは、近年生み出された細胞リプログラミング技術に重点を置いて、関連するヒト多能性幹細胞の作製・制御にかかわる分子メカニズム解析等の研究を対象とします。

ここでは、CIRMのBasic Biology Awards Ⅲと協調し、iPS細胞研究およびこれに関連する他の幹細胞についての、以下に示すような研究を推進します。

- ・分化過程において幹細胞の運命選択を左右する因子の解明 (Elucidating the determinants of stem cell fate decisions during differentiation)
- 分化途上で特定の前駆体細胞群に見いだされる分子の同定・解析 (Molecular characterization of specific precursor populations at intermediate stages of differentiation)
- 成熟し代謝機能を備えた細胞・組織・小器官への系譜特異化の分子基盤 (Molecular basis of lineage specification towards mature adult, metabolically functional cell types, tissues and mini-organs)
- 細胞内外微小環境が幹細胞の運命・挙動に与える影響 (Role of the cellular and extracellular microenvironment in regulation of stem cell fate and behavior)
- ・ヒト多能性幹細胞の自己複製能と増殖の分子基盤 (Molecular basis of human pluripotent stem cell self-renewal and expansion)
- ・多能性や、幹細胞の特定の系譜への発生に関する潜在能力の分子基盤 (Molecular basis of pluripotency or the developmental potential of stem cells to specific lineages)
- ・細胞リプログラミングの機構 (Mechanisms of cellular reprogramming)

	<p>-多分化能誘導の分子基盤 (Molecular basis for induction of multipotency or pluripotency)</p> <p>-分化転換誘導の分子機構 (Mechanisms of direct reprogramming to other cell types (trans-differentiation))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単一の細胞型において多様性が生じる機構も含めた、幹細胞およびそこから派生する細胞の発生に関わる能力や可塑性の背景となるエピゲノムあるいは他の制御機構 (Epigenetic and/or other regulatory mechanisms (e.g. retrotransposon activity) underlying the developmental potential/plasticity of stem cells and their derivatives, including those mechanisms that generate diversity within an individual cell type) ・幹細胞の遺伝・エピゲノムあるいはゲノムから見た不安定性、およびその分化・腫瘍形成能への影響 (Genetic, epigenetic and genomic instability of stem cells, and the effects of such instability on their differentiation and tumorigenicity) ・内因的あるいは人工的な多次元微小環境が幹細胞運命や挙動に影響する分子機構 (Molecular mechanisms by which endogenous or engineered multidimensional microenvironments influence stem cell fate and behavior) ・疾患の分子基盤: in vitroでのヒト幹細胞に基づいたモデルによるヒト疾患分子機構の解明や検証 (Molecular basis of disease: elucidating/validating human disease mechanisms with in vitro, human stem cell-based models)
--	---

募集・選考の方法	<p><u>この募集に応募するためには日本側研究チームがJSTへ、カリフォルニア州側研究チームがCIRMに各々個別に申し込む必要がありますのでご注意ください。</u></p> <p>JST、CIRMの両機関とも審査は一次審査と二次審査の2回に分けて行います。</p> <p>審査を通過した提案のみ二次審査に応募することができます。二次審査では再度詳細な研究提案書を提出していただきます。二次審査においても日本側研究チームがJST、カリフォルニア州側研究チームがCIRMに各々個別に申し込む必要があります。二次審査に応募された研究提案は一次と同様、両機関で審査されます。</p>
研究費	年平均 2 千万円～ 8 千万円程度
実施期間	最長で約3年間
応募資格	<p>日本国内の研究機関に所属している研究者を対象とします。本共同研究プログラムの趣旨を十分理解し、カリフォルニア州の幹細胞研究に関わる研究者と緊密な連携の下、共同研究プロジェクトの目標達成にむけた協力体制を構築し、相互に研究を補完し合いながら研究を実施する体制をとる事が要件となります。</p> <p>なお、研究提案の応募は、研究代表者として1名につき1件のみ可能です。</p>
申請方法	<p>■ 提案書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JST-CIRM共同研究プログラムへの提案書式をご使用ください ・ JSTへの提案内容とCIRMへの提案内容が同一となることが必須です。従って提出にあたっては、カリフォルニア側申請者との共同作業により提案内容をお纏めください。 ・ 詳細は以下をご覧ください。 http://www.jst.go.jp/kisoken/jst-cirm/ipsbosyu/youkou1008.pdf

	<p>・ 英語で記載いただく内容は、カリフォルニア側申請者が、CIRMに提出した提案書と完全に一致する内容をご記入ください。日本語部分は、その同一な内容を過不足なく記載してください。CIRMの提案書式は、Basic Biology Awards III RFA (http://www.cirm.ca.gov/RFAs)をご参照ください。</p> <p>■ 提出期限等</p> <p>府省共通研究開発管理システム (e-Rad) を通じて、 2010年10月18日 (月) (午後5時) 迄にご提出ください。(必着)</p> <p>※ e-RadのログインID・パスワードが必要になります。応募方法については、http://www.e-rad.go.jp/ をご参照ください。尚、アップロードできるファイル (提案書) の最大容量は3MBですので、ご注意ください。</p> <p>※上記締め切りは、府省共通研究開発管理システム (e-Rad) による申請期限です。</p> <p>※ カリフォルニア側申請者のCIRMへの提出期限は10月7日 (現地時間) となりますので、ご注意ください。</p>

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準 (産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp